

協働 ～共有した目標に向かって共に汗を流す～

本日はお忙しい中、第1回学校運営協議会にご参会いただきありがとうございます。
先ほど、お一人お一人に「任命書」をお渡ししました。

コミュニティ・スクールとは、お手元の資料（NO，3）にございますとおり、学校と地域住民・保護者が力を合わせ、地域総がかりで学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を目指す制度です。「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る」という言葉がございますとおり、これまでも地域・家庭・学校の連携は重視されてきました。とりわけ本校では、地域の皆様のお力をお借りしながら、創立以来77年間の歴史と伝統を積み重ねてきた経緯があります。

コミュニティ・スクールの中心となるのが、本日お集まりいただきました学校運営協議会の皆様方となります。熊谷市がコミュニティ・スクールを導入し、5年が経過したところです。前身は「学校評議員」ではありますが、大きな違いは、お手元の資料「熊谷市学校運営協議会規則」（NO，2）の第3条にございます通り、「校長の学校運営方針」等を「承認」するところにあります。コミュニティ・スクールの強みは、承認をいただく過程で、「こんな子供に育ててほしい！」「こんな学校を創りたい」という目標・ビジョンを、地域・家庭・学校が共有できことであると考えています。そして、資料（NO，3）のサイクルの③「実現させる（協働）」の「共有した目標に向かって共に汗を流す」ということが、三尻中学校の学校運営協議会の最終形だと思っています。

本日の会議では、次第にございますとおり、学校が1年間のスタートをきる大変重要な内容についての協議となります。三尻中学校のさらなる発展のため、委員の皆様方には忌憚のないご意見をいただきますことを御願い申し上げ、会に先だつての校長あいさつといたします。

熊谷市立三尻中学校長 田沼良宣